

令和3年度国立大学法人東京海洋大学第5回経営協議会議事要録

日 時 令和4年3月16日(木) 14:00～16:00

場 所 白鷹館 多目的スペース(品川地区)及びWebexによるビデオ会議

出席者 井関学長、五十嵐委員、井手委員、井上委員、武藤委員、荻上委員、森委員、
山本委員、舞田理事、庄司理事、堀内理事(兼事務局長)、工藤理事、渡辺理事

オブザーバー 青山監事、久保田監事、岡安副学長、婁副学長、田中海洋資源環境学部長

事務担当者 真下財務部長、小野学務部長、永井企画評価課長ほか事務関係者

議 事

【審議事項】

1 就業規則の改正について

堀内理事から、資料1に基づき、就業規則の改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

主な質疑応答は以下のとおり(○:質問及び意見、●:回答)

○法律に基づいた改正ということだが、その内容に沿っているだけなのか。規則改正にあたり、国立大学としての自由度はあったのか。

●本学の実状を見ながら、職員からの希望も踏まえた改正になっている。法人化してからは民間法制に移行しており、自由度は民間企業とほぼ同じとなっている。

2 令和4年度予算案について

堀内理事から、資料2に基づき、令和4年度予算案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

主な質疑応答は以下のとおり(○:質問及び意見、●:回答)

○教員の退職により教職員の人件費が減少しているが、教育の質は維持できるのか。

●教員の人員は減っているが、学生の定員等を変えることなく、カリキュラムのスリム化を行うことで対応していきたい。

今年度受審した大学機関別認証評価の過程で、本学は教育の内部質保証の在り方に課題が見つかったので、今年度より内部質保証の改善を始めており、ディプロマポリシー、カリキュ

ラムポリシーを見直し、カリキュラムの根本的な見直しによるスリム化が必要だと考えている。

○電子ジャーナルの年間購読料の値上げによって、図書館の予算を増やす必要があるのであれば、購読する電子ジャーナルの見直しを行うべきではないか。

また、図書館の経費には資料の保存等に使用する予算は含まれているのか。

●予算増は、電子ジャーナルの純粋な値上げが原因であり、予算全体としては、本の購入や学生へのサービス提供等の経費を含む、ミュージアム及び大学図書館全体の運営のための予算となっている。購読する電子ジャーナルの見直しは適宜行っているが、インパクトファクターの大きいジャーナルほど購読料が高額になり、一方的に値上げをされる。国立大学図書館協会の学術資料整備委員会（電子ジャーナルWG）においても日本の科学力の命運に関わる喫緊の課題として捉えられている。

○DX 対応にどれほど予算を配分したのか。そのような視点で物事を考えているのか、DX に対して今後どのように取り組んでいくのか。

●1 月に総合情報基盤センターの基幹システムのリプレースを行い、セキュリティの向上と実際に職務で使用する上での利便性を考えて、予算を配分した。デジタル機器やシステムを十分に使いこなせる人員を配置し、使用率を上げていくことが重要であり、可能などころから取り組んでいきたい。

○海洋産業 AI プロフェッショナル育成卓越大学院プログラムは、予算的に反映されているのか。

●令和元年度から 7 年間は文部科学省から別途補助金で予算措置があるので、今回の予算には含まれていないが、補助期間終了後は予算措置が必要になっていくと考えている。

3 新学生寮建設の基本方針について

堀内理事から、資料 3 に基づき、新学生寮建設の基本方針について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

○品川地区にある朋鷹寮と国際交流会館の代わりに、新学生寮が建設されるという理解でよいか。越中島の海王寮は残るのか。

●まずは品川の寮についての方針を示したが、越中島の海王寮でも老朽化が指摘されており、今後新しい寮の建設を検討している。

○地方から上京した学生にとっては、生活費が抑えられるので、家賃の安い寮は大変重要であるが、部屋が狭すぎる印象がある。一部屋の面積を増やすと部屋数が減って収入も減ってしまうことで、収支シミュレーションに影響が出ると思うが、将来的な需要を考慮し、ある程度は床面積を大きくした方がいいのではないか。

●単身用ではAとBの部屋タイプを用意しており、（部屋は狭くても）可能な限り安い方がいいと言う学生も、ある程度設備が充実している部屋が良いと言う学生も、満足できるようにしている。より低廉なタイプAの部屋ではキッチンやシャワー等の水回りは共同で使用することを前提としており、廉価な価格の提案ができればよいと思う。

○個室の方が良いという意見も多いが、一方で複数の学生が共同生活を送ることについて近年見直されている流れもある。実際に共同の部屋に住んでいる若い人の意見を聴きながら進めてほしい。

●個室の方が、入居率が上がる傾向があるので、今回の案は個室が中心となっているが、ラウンジ、多目的ホールなどの交流スペースを設けて緩やかに居住者同士の交流が出来るような寮にしたい。

【報告事項】

1 国立大学法人東京海洋大学内部統制規則の制定について

学長から、資料4に基づき、国立大学法人東京海洋大学内部統制規則の制定について報告があった。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

○運用に関しては大学の自由や発想が委縮しないようにしつつも、厳格に行う必要がある。

○内部統制規則に内部通報を盛り込むべきではないか。

●内部通報は業務方法書に記載があり、意見を広く集めるツールとして活用していきたい。内部通報が出てきやすい仕組みを作るのは重要だと考えている。

○研究費不正がなくならないという状況が続いているので、意識改革は絶対に必要だと考える。年々改善傾向にはあるが、古い意識を根絶できるように尽力してほしい。

●eラーニングでの研修、学長からの声明を通じて、全学をあげて研究不正の根絶に取り組んでいきたい。

2 第4期中期目標・中期計画について

学長から、資料5に基づき、第4期中期目標・中期計画について報告があった。

3 理事及び副学長候補者について

学長から、資料6-1、6-2、6-3に基づき、理事及び副学長候補者について報告があった。

4 令和4年度一般選抜の出願状況について

舞田理事から、資料7に基づき、令和4年度一般選抜の出願状況について報告があった。

5 学外委員から得られた意見に関する対応状況について

学長から、資料8に基づき、学外委員から得られた意見に関する対応状況について報告があった。

6 令和4年度経営協議会の開催日程について

学長から、資料9に基づき、令和4年度経営協議会の開催日程について報告があった。

7 その他

・経営協議会委員の退任について

学長から、武藤委員、森委員、山本委員が本年3月で退任することに伴い、謝辞が述べられた。続いて、各委員から退任の挨拶があった。

・役員の退任について

学長から、堀内理事が本年3月をもって退任する旨の報告があり、本人から挨拶があった。

以上

配付資料

○令和3年度第4回経営協議会議事要録

資料1 就業規則の改正について（令和4年4月1日施行分）

資料2-1 令和4年度予算編成方針

資料2-2 令和4年度予算（案）

資料2-3 令和4年度予算学内当初配分（案）

資料3 新学生寮（品川キャンパス）の概要

資料4 「国立大学法人東京海洋大学内部統制規則」制定案

資料5 第4期中期目標・中期計画

資料6-1 東京海洋大学副学長候補者の選考について（案）

資料6-2 理事及び副学長等の職務分担について

資料6-3 東京海洋大学理事候補者について

資料7 令和4年度一般選拔出願状況

資料8 学外委員から得られた意見に関する対応状況について

資料9 令和4年度東京海洋大学経営協議会開催日程